

第35回岩手県勤労者美術展 審査評

開催期間 2016年11月17日(木)～20日(日)

表彰式 2016年11月20日(日)午後12時30分～ 盛岡市民文化ホール・展示ホール

〈〈絵画の部〉〉 出展数 56点

たねくら のりあき
審査員：種倉 紀昭 氏

賞	氏名	作品名	作品評
岩手県知事賞	佐藤 英子	Work -深層心理『明と暗』	布や紙、針金、ガラス片、陶片などをコラージュして、混沌とした世界、無意識の世界を迫力を以て表している。
優秀賞	辻 齊一	晩秋の里	高度なデッサン力と観察力で里山の風景と光をとらえている。ただ写しただけではない表現の豊かさもある。
奨励賞	巣鴨 尋子	大地の記憶	作者は厳しい環境の中で岩をも通り抜ける根を持つ古木の生命力に共感し、表現を自分のものにしている。
奨励賞	大久保 義雄	暖	囲炉裏に南部鉄瓶がかかって川魚を焼く老爺が描かれている。炉の火が照らす顔や手の明部と影が良い。
佳作	荒井 賢二	丸瀬布の恋人	素描で古いタイプの蒸気機関車を側面から手堅く、細密に描いた佳作。
佳作	瀬川 瞳子	伝統さんさ	強調と省略が調和している。笠の表現が適確である。
佳作	平野 茂子	赤とんぼ	もう一点の「らん」の方が一見してコントラストが強く、迫力がある。しかし、この作品は、画面に時間性を感じる。
佳作	浅沼 正夫	昼夜がりのホイワン	東南アジアを旅して取材した売店・露店と旅行者、現地の人々を丁寧に水彩で描いた佳作。
審査員特別賞	玉川 浩嗣	秋色の風	セザンヌも描いたであろうような小児の石膏像を囲んで、秋の果実の豊穣さを表すような水彩画になっている。

総評 日常で触れ合い、また出会った自然や題材をそれぞれが独自の手法で描いています。誠実で正直な表現をどの作品にも感じました。

〈〈切り絵〉〉 出展数 24点

賞	氏名	作品名	作品評
特別賞	小倉 善文	展勝地花魁道中	かなり難しい題材に精力的に取り組まれたことに敬意を感じます。

総評 特別な技法が必要な分野なので、単純に他の絵画分野と比較できないところもあります。より個性を發揮していただければと思います。

第35回岩手県勤労者美術展 審査評

開催期間 2016年11月17日(木)～20日(日)

表彰式 2016年11月20日(日)午後12時30分～ 盛岡市民文化ホール・展示ホール

「写真の部」 出展数 100点

審査員：小川 文男 氏
おがわ ふみお

賞	氏名	作品名	作品評
岩手県知事賞	高橋 匠	祭 礼	鹿をこれほど表現できるとは驚きです。全体の中でひときわ新鮮だ。
優秀賞	原子内 貢	白い弾丸	画題が新鮮だ。迫力満点。両羽を切ったことが良かった。
奨励賞	福盛田 弘	瞬 光	実にタイミングの良い写真です。手前の馬が前進してくれた事が幸いでした。
奨励賞	大槌 國雄	担 ぐ	三人の顔の表情が生き生きとしている。ピントが良い。
奨励賞	照井 俊男	秋の田園で遊ぶ子等	カカシと子等をませた設定が良かった。カラーバランスも良い。
佳作	小川 正子	フナバラソウにとまるヒオドシチョウ	グリーンの中に蝶と黒い花が調和している。
佳作	上野 通三	星めぐり	長時間露光が成功している。宇宙の広がりが美しい。
佳作	山田 恵子	晴れ間に舞う	画面構成に安定感があり、シャッターチャンスを逃さなかった。
佳作	伊藤 憲子	日 影	松の木を上手に配置し、影も美しく表現している。
佳作	立花 拓子	幸せ、あ、げ、る	三人の笑顔がストロボ光によりハッキリ見えテーマに合っている。
親子ふれあい賞	板垣 弘清	いのちの鼓動	一口に言えば、いとおしさがひしひしと伝わってくる。
親子ふれあい賞	北井崎 昇	一心同体	親子の動きが実に見事に一致していてほほえましい。
親子ふれあい賞	及川 文夫	そうめん祭り	楽しいというよりも競っているといえる表情が面白い。
審査員特別賞	黒木 義則	天からの贈り物	賢治の世界が頭に浮かぶ。抽象的に自分のイメージを表現している。

(総評は裏面にあります)

一般社団法人 岩手県労働者福祉協議会

総評

年毎に写真のレベルが上がっている。特に上位作品は甲乙つけがたく、ほんの少しの差で決まった。

テーマをどう新鮮な表現で作画するかが今後の課題でしょう。カメラ人口が多くなるのだから、見たままでは被写体のコピーに過ぎない。今後はその作者が自分の人生観を他者を使ってどうプリントまで作品化するかにかかっている。

ピントだけは正確に主題に合わせてください。

カラーバランスは非常に良くなってきました。

第35回岩手県勤労者美術展 審査評

開催期間 2016年11月17日(木)～20日(日)

表彰式 2016年11月20日(日)午後12時30分～ 盛岡市民文化ホール・展示ホール

「書道の部」 出展数23点

よし た しん ぶ う
審査員：吉田 晨風 氏

賞	氏名	作品名	作品評
岩手県知事賞	大矢 幸一 (瑞峰)	七歩詩	素朴な隸書を用い、骨格のしっかりした規模の大きな快作。
優秀賞	伊藤 祐子	王漁洋詩	明朝の行書体で華やかに表現している。全体感のよくまとまった作品。
奨励賞	三浦 ヨウ子 (香蘭)	查慎行の詩	大胆な筆致で、重厚感のある作品。行間の使い方にみるものがある。
佳作	佐々木 光子 (光翠)	馮延登句	半切横に、文字の大小を意識し、強弱の線をとり入れ自然にまとった作品。
佳作	片方 正明	漢詩句	連線線を巧みに用いて半切二行の表現ながら規模の大きい作品。
佳作	吉田 貞子 (光穂)	光定戒牒	丹念に、光定戒牒を臨書。さらに自分の色も表現に出てくることを期待したい。
審査員特別賞	鈴木 里美 (青穹)	陸卿子詩	加工紙に行草を用いて横形式に表現した作。文字の疎密や行間を広くとって作品に明るさを出し、墨量をみて重厚さもみられる秀作。

総評

出品の長い方に、新しく出された方も加わり、しっかりした作品の揃った美術展である。大きい作には圧倒する迫力があり、小さい作品と調和された会場は楽しいものである。年齢層も広く、さらに新たに出品される方が増えていくことを期待したい。